

BRAND OF THE YEAR 2022を発表

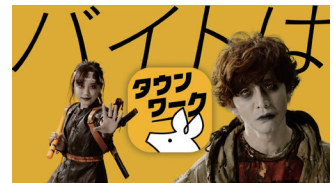
CM総合研究所(東京都千代田区 代表・関根心太郎)は、2022年度(2021年11月度～2022年10月度)のCM好感度ナンバーワンブランド「BRAND OF THE YEAR 2022」を発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれとCM展開についてレポートいたします。

2022年度 銘柄別CM好感度トップ10(全6833銘柄)

順位	企業名『銘柄名』	代表作品名(主な出演者)
1	KDDI / au	「三太郎シリーズ:進め!そっちだ!」篇(松田翔太/桐谷健太/濱田岳ほか)
2	リクルート/タウンワーク	「吊り橋」篇(木村拓哉/芦田愛菜)
3	ユニクロ/UNIQLO	「ワイドパンツはみんなのものへ。」篇(綾瀬はるか/松下洸平ほか)
4	アサヒビール/アサヒ生ビール	「2022年もおつかれ生です」篇(新垣結衣)
5	KDDI / UQ	「UQUEEN・カモの親子」篇(満島ひかり/松田龍平)
6	Uber Eats Japan / Uber Eats	「今夜、私が頂くのは…帽子」篇(安達祐実/芦田愛菜)
7	ソフトバンク/ワイモバイル	「家族はいいのだ」篇(出川哲朗/小池栄子/芦田愛菜/ふてこやん)
8	サントリーホールディングス/BOSS	「宇宙人ジョーンズ・禁じられた惑星」後篇(役所広司/中島みゆき ほか)
9	出前館/出前館	「Demaecanしよ?スイーツ」篇(生見愛瑠)
10	アサヒビール/スーパードライ	「最高の渇きに。イチロー」篇(イチロー)



KDDI / au



リクルート/タウンワーク



ユニクロ/UNIQLO

【auが8連覇達成、三太郎、高杉くんシリーズなど多彩なシリーズ展開が好評】

2022年度にCMを放送した全6833銘柄のうち、KDDI「au」が8年連続のCM好感度1位に輝いた。「三太郎」シリーズは鬼に立ち向かう三太郎らをRPG仕立てで描いた正月CMが好評で、時流を捉えた表現や「進め!そっちだ!」という前向きなメッセージが共感を集めた。神木隆之介出演の「意識高すぎ!高杉くん」シリーズ、広瀬アリスと鈴鹿央士が共演する料金プラン「povo2.0」のCMも展開し、いずれも多彩なキャストによるコミカルな掛け合いを通してサービスの特長やブランド価値を親しみやすく伝えた。

リクルート「タウンワーク」は映画の撮影現場を舞台に、木村拓哉と芦田愛菜が本人を演じるCMが好評だった。テンポよく展開するふたりの掛け合いや意外性のあるストーリーが話題となり、幅広い世代から多くの支持を獲得。CM好感度の総合順位は前年度から21ランク上昇し、自己最高の2位につけた。

「UNIQLO」は自己最高のCM好感度を更新し、初のトップ3入りを果たした。「LifeとWear」のコピーのもと、桑田佳祐の楽曲をBGMに綾瀬はるか出演するCMシリーズを引き続きオンエア。綾瀬が犬の散歩中に会った松下洸平、田中哲司と談笑する「ワイドパンツ」のCMなどでポイントを伸ばした。

【アサヒビールの2商品がトップ10入り、通信、フードデリバリー系のCMがヒット】

アサヒビール「アサヒ生ビール」は竹内まりやの「元気を出して」をBGMに、新垣結衣が「おつかれ生です」と語りかけるCMが快走し、自己最高位の4位となった。同社の「スーパードライ」は「最高の渇きに、DRY。」をコピーに、イチローらが初のフルリニューアルを伝えるCMがヒット。中島健人と菊池風磨、白石麻衣と西野七瀬がそれぞれ共演する「スーパードライ 生ジョッキ缶」のCMも好評で、10位につけた。

KDDI「UQ」は満島ひかりが「UQUEEN」、松田龍平が執事を演じる「UQUEEN」シリーズのうち、馬車で移動中の松田が満島に促され、カモの親子の会話をアテレコするCMなどが多く支持を得た。ソフトバンク「ワイモバイル」は「Y!でいいのだ!」のコピーのもと、芦田愛菜が「バカボン」、出川哲朗が「バカボンのパパ」を演じるCMに、小池栄子を「ママ」役で起用。コミカルな掛け合いが高く評価された。

Uber Eats Japan「Uber Eats」は「今夜、私が頂くのは…」をキーワードにしたシリーズを継続し、本年度は安達祐実と芦田愛菜の共演作などを展開。意外性のあるキャスティングをフックにスコアを伸ばした。「出前館」は人気動画クリエイターのHIKAKINとはじめしゃちょーが「お!送料無料」などと歌い踊るCMが好評だったほか、生見愛瑠が「Demaecanしよ?」と呼びかけるシリーズも得票した。

サントリーホールディングス「BOSS」は中島みゆき演じる「宇宙大統領」によって働くことを禁じられた世界で、困惑する人々の姿を見た宇宙人ジョーンズが世界をもとに戻すCMなどが注目を集めた。

2022年度のCM展開(東京キー5局):
2645社/6833銘柄/14562作品
集計期間:2021年11月度～2022年10月度
(2021年10月20日～2022年10月19日)
関東1都6県在住の一般モニター 男女3000人の
「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計
※企業・銘柄・作品名はCM総合研究所のデータ
ベースの登録名称であり、正式名称と異なる場合
があります。

詳細は専門誌「CM INDEX」2022年12月号(12月15日発売)をご覧ください。データ使用の際は事前のご連絡をお願いいたします。
ご質問などはCM総合研究所のホームページ(www.cmdb.jp)のお問い合わせフォームよりご連絡ください。